

## 平成 26 年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業計画

### 1 設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

### 2 沿革

昭和 59 年 11 月 20 日、佐倉市宮小路町 12 番地に財団法人印旛沼環境基金として、民法第 34 条の規定に基づいて、千葉県知事の設立許可を受けて発足した。

### 3 事業活動の基本方針

印旛沼の水質浄化および流域の環境保全を推進するため、印旛沼流域住民の力を結集し、環境保全活動等の活性化と啓発を図る。

### 4 平成 26 年度の重点目標

印旛沼および流域内河川等で行われた関係機関による各種環境調査の結果をとりまとめ、精査するとともに、補足的な調査を行い、その成果を印旛沼の環境保全活動に資する。また、印旛沼の環境保全に関する印旛沼流域住民の意識高揚のため啓発活動を行うとともに、市民による広範な活動を支援する。

### 5 事業内容

#### (1) 印旛沼および流域における調査研究（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

##### ① 水質調査等結果の取りまとめ（継続）

県および流域市町が印旛沼および流域の河川・排水路等で実施した水質等に関する調査結果を広く収集し、取りまとめ、それらの結果を精査し、当基金隔年発行の「いんば沼白書」等に掲載する。

##### ② 動植物（生態系）に関する調査研究（継続）

印旛沼の汚濁機構に関する基本的な知見や環境保全に対する住民への効果的な啓発活動等に資するため、独自に各種調査を行う。また、必要に応じて印旛沼および流域で調査・研究を行っている専門家や、NPO 法人を含む一般市民団体の協力を得て、調査を行う。

平成 25 年度に行った「印旛沼における水草の生育分布調査」で得られた結果は、平成 25 年 10 月の台風の影響によって大きな変化が推測されることから、再度、平成 26 年度に、同調査を行う（調査予定時期：7 月～8 月の間に 2 回に分けて行う。調査協力：水草専門家・今井正臣氏、印旛沼ネットワークの会・未定）。

##### ③ 各種関連資料の収集と取りまとめ（継続）

印旛沼等の環境保全に関わる諸情報（例えば、流域市町が対処・処理した環境に関する苦情、補助事業や水環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめ、それらの結果を基金が隔年発行する「いんば沼白書」等に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

#### (2) 講習・学習会および観察会（定款第 4 条第 1 項第 2 号関係）

##### ① 講習・学習会等の講師派遣（継続）

流域内・外の市町、学校（法人）および一般市民団体等（NPO 法人を含む）の要請

を受け、印旛沼に関する学習会、講演会および講習会等に講師を派遣する。

- ② 屋形船による印旛沼観察会（継続：印旛沼水質保全協議会と共催）  
印旛沼流域住民が屋形船で沼および周辺の自然を観察する。  
・対象：印旛沼流域内の住民、印旛沼水質保全協議会加入団体  
〔募集人数：168名（内訳：（18名×4隻）＋（24名×4隻））〕  
・開催回数：年1回〔7月24日（木）、予備日：7月25日（金）〕
- ③ 印旛沼の探検（新規）  
印西市青少年相談員連絡協議会（印旛中地区）と地区の小・中学生が屋形船で沼の動植物を観察、また沼の汚れ具合を調査する。  
・対象：印西市印旛中地区の小・中学生  
・募集人数：（24名×2隻）と（18名×2隻）の計84名（青少年相談員と講師を含む）  
・開催回数：平成26年春～初夏の間に1回
- ④ 印旛沼環境基金設立30周年記念公開講座および座談会（新規）  
平成26年11月に設立30周年を迎えるに当たって、記念の公開講座と座談会を合わせて計6回行う。  
開催は、以下の要領で佐倉市と共催。  
・対象：印旛沼流域内・外の一般住民（一講座当たり募集定員：100名）  
・場所：ミレニアムセンター佐倉 ホール  
・日時、講座名・座談会テーマ、講師
- 《公開講座》  
第1回：平成26年6月28日（土）14：00～16：30  
講座名：「いんば沼 -むかし、いま-」（前編）  
講師：本橋 敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金）  
第2回：平成26年7月26日（土）14：00～16：30  
講座名：「いんば沼 -むかし、いま-」（後編）  
講師：本橋 敬之助（公益財団法人印旛沼環境基金）
- 《座談会》  
第1回：平成26年8月30日（土）14：00～16：30  
テーマ：「いんば沼を撮る」  
講師：内田 儀久（写真家・佐倉市在住）  
：鈴木 康雄（写真家・印西市在住）  
：吉岡 一美（写真家・四街道市在住）  
第2回：平成26年9月27日（土）14：00～16：30  
テーマ：「文人・歌人が描いたかつてのいんば沼」  
講師：内田 儀久（郷土史研究家）  
：村上 勲（郷土史研究家）  
第3回：平成26年11月1日（土）14：00～16：30  
テーマ：「いんば沼の水利用と、これから」  
講師：山口 浩（千葉県総合企画部水政課）  
：未 定（独立行政法人水資源機構）  
：高橋 修（印旛沼土地改良区）

第4回：平成26年11月29日（土）14：00～16：30

テーマ：「いんば沼の生きものたちのこれから」

講師：浅野 俊雄（日本野鳥の会）

平田 淳一（千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所）

高山 順子（千葉県自然保護課生物多様性センター）

(3) 啓発・宣伝（定款第4条第1項第2号関係）

① ホームページの公開（継続）

インターネットを利用して、当環境基金の事業等についての紹介と同時に、印旛沼および流域の環境保全等を住民に対して啓発するとともに、他団体との情報交換を行う。

② 「水辺の風景画コンクール」の開催（継続）

印旛沼流域の小・中学校の児童および生徒を対象に、自分たちが見た、触れたなど、体験した湖沼や河川等の水辺の風景画を募集し、優秀な作品などを表彰するとともに佐倉市立美術館で展示（展示期間：平成26年10月29日～11月2日）、一般市民の方々に鑑賞してもらう。

《表彰式》

・日 時：平成26年11月2日（日）14：30～15：30

・場 所：佐倉市立美術館4階ホール

③ 「印旛沼連携プログラム」サポート企業の登録等（継続）

千葉県の「印旛沼連携プログラム」にサポート参加希望の企業の登録等に関する事務を行う。

④ 刊行物等の編集・発行（継続）

》》 雑誌いんば沼（毎年一回発行）

・発行部数：4,000部（委託印刷）

・発行時期：5月頃

・配布先：流域市町、県、その他関係機関、一般住民

》》 平成25・26年版いんば沼白書（隔年発行）

・発行部数：500部

・発行時期：11月中旬

・配布先：流域市町、県、その他関係機関、印旛沼環境基金設立30周年記念式典

⑤ 刊行物等の頒布（継続）

環境基金編集・発行の刊行物等を県や、市町およびその他の関連機関が開催する環境関連行事等において無料配布、または有料で頒布する。

(4) 環境保全団体等への助成（定款第4条第1項第3号関係）

① 助成金の交付（継続）

印旛沼および流域において自然環境に関する調査・研究や、環境保全に関わる啓発等の各種活動を行っている小・中・高等学校、大学およびNPO法人を含む一般市民団体等を対象に助成金を交付する。

② 助成事業成果報告会の開催（継続）

助成金を交付した団体を一室に会し、事業成果報告会を開催し、互いに討論し、今後の印旛沼における更なる環境保全活動の向上に繋げる。

- ・日 時：平成 27 年 1 月 23 日（金）、9：20～15：30
- ・場 所：印旛合同庁舎 2 階大会議室

(5) 公益財団法人印旛沼環境基金設立 30 周年記念事業（定款第 4 条第 1 項第 4 号関係）

① 設立 30 周年記念式典

》》日 時：平成 26 年 11 月 22 日（土）13：00～16：00

》》場 所：ウィッシュトンホテル・ユーカーリ 5 階ロイヤルウィッシュトン

》》次 第（詳細は、検討中）

- ・功労者表彰
- ・座談会など

② 記念誌発行：「いんば沼とともに -30 年のあゆみ-」

- ・発行部数：500 部
- ・発行時期：11 月中旬
- ・配布先：流域市町、県、その他関係機関、基金設立 30 周年記念式典